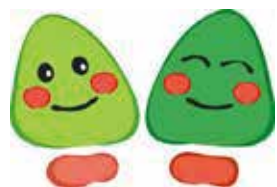


デイサービスで ターミナルを考える

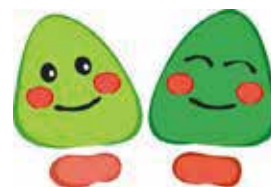
本人が望む最後を迎えるために私たちが出来る事

発表者 田辺美樹 植田文華

このスライドの写真及び個人情報家族に了承いただいています。



施設紹介



倉敷市の南西部に位置し
約800世帯内が暮らす
玉島柏台にある施設



柏台祭りの開催や
地域の祭り、町内会行事
清掃活動等の参加や
地域交流活動に積極的に取り組んでいます。

「楽しい一日だった」「今日も来てよかった」と
言って頂けるデイサービス作りをしています。

きっかけ

柏台デイサービスをととても愛して下さっている利用者
がおられた。

独居であり、病状の進行により本来なら病院にて過ごすことを先生も家族も望んでいたが、本人は、デイサービスで最後まで楽しく過ごしたいと退院した。

本人の気持ちに沿えるよう、残された時間を充実して
頂けるよう私たちは何をすべきか考えた。

K 様 (独居)

女性・87歳

要介護Ⅰ

生活自立度 JI

認知症自立度 自立

糖尿病・白内障・

大腸がん・リンパ腺がん

社交的・姉御肌・歌が好き



ターミナルに至った経緯

平成30年1月に体重減少にて入院

大腸がんが肺と肝臓に転移

余命2ヶ月・告知していない

病状の進行により本来なら病院にて過ごすことを先生も家族も望んでいた。

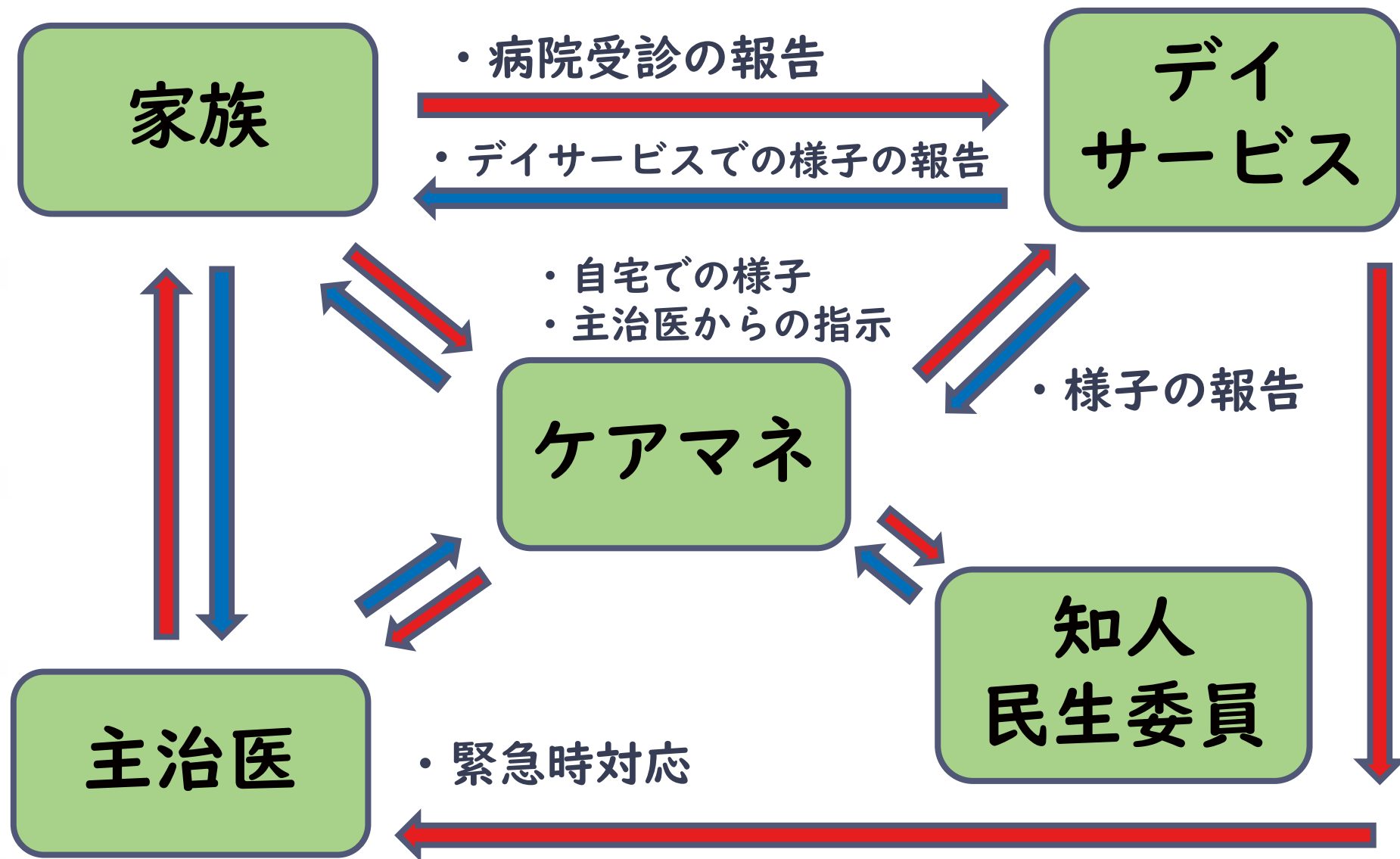
Kさんが望む事

- 今までの生活を変えたくない。
- デイサービスに行って楽しく過ごしていきたい。
- 気持ちの贅沢がしたい。
- 迷惑を掛けたくない。

私たちの考えたKさんへの対応

- ①多職種との連携
- ②体の負担なく過ごせる工夫
- ③心安らげる場所の工夫
特別扱いにならない工夫

① 多職種との連携



②体の負担なく過ごせる工夫

I 送迎時の対応

- 迎えの時間を遅く対応（8：45→9：30）
- 送迎を単独で対応（急変に備えるため）
- 朝食の確認（低血糖防止の為）

II 食事の対応

- 血糖値の測定
- メニューの確認（食欲が落ちている為）
- 食事形態の変更（並少→粥・一口大少食）

Ⅲ入浴時の対応

- バイタル測定（入浴時間を前後）
- 入浴中の対応（体調変化に注意）
- 入浴後の対応（ソファーに誘導）

Ⅳその他の対応

- 歩行時の対応（園内でも歩行器使用）
- 記録の対応（不安にさせない記録）

② 介護現場の工夫 特別扱いにならない

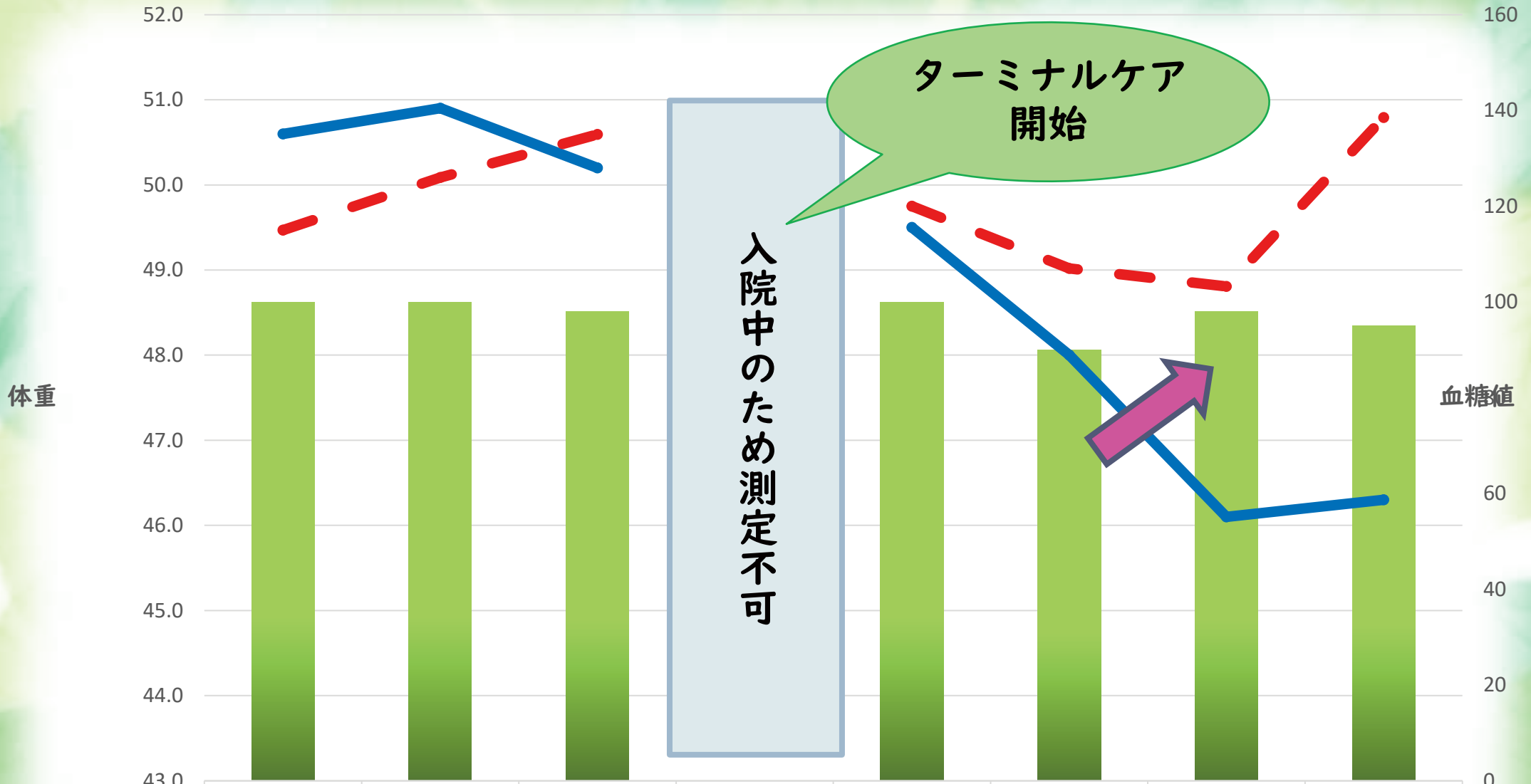


	バスルーム		トイレ	

○	○	○	○	
○	○	○	○	
○	○	○	○	
○	○	○	○	



カウンター 水場



- 食事量
- 体重
- 血糖値

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
食事量	100	100	98		100	90	98	95
体重	50.6	50.9	50.2		49.5	48.0	46.1	46.3
血糖値	115	126	135		120	107	103	139

活動の評価

①多職種との連携

- ・ ケアマネ・家族との状態の共有
- ・ 職員・ケアマネ・家族の不安の軽減
- ・ 家族と連絡しやすい関係作りの構築

活動の評価

②体の負担なく過ごせる工夫

- ・休まれることなく利用
- ・食事は残さず完食
- ・大好きなお風呂に最後まで入ることが出来た

活動の評価

③心安らげる場所の工夫 特別扱いにならない工夫

- ・ソファで体の負担を軽減できた
- ・最後までデイサービスに行きたいと言ってくれた



ご清聴ありがとうございました

